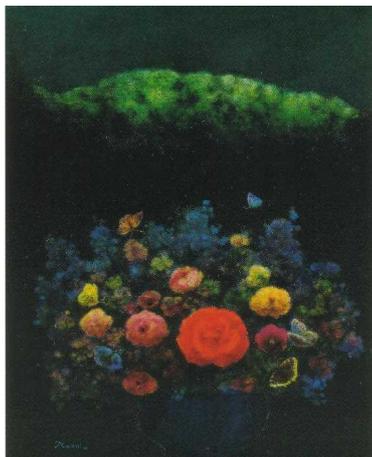


令和5年9月15日発行 鷹山宇一記念美術館友の会  
 〒039-2501 青森県上北郡七戸町字荒熊内 67-94 七戸町立鷹山宇一記念美術館内  
 TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860 e-mail info@takayamamuseum.jp http://www.takayamamuseum.jp/



「早春賦」1990年 キャンバス・油彩



「夜明けの静物」1990年 キャンバス・油彩



「早春賦」〈部分〉



「夜明けの静物」〈部分〉

## 「薔薇」

カナで書くとなんとも味気ないが、「檸檬」「葡萄」「堇」「薔薇」などはなんと優雅で節度のある上品な書体であろうか。とくに、「薔薇」は字を見ただけでロココ調の華やかな文化の香りがほのかに匂い立ってくる。色彩も、「幼い少女のピンクのドレス」、「純白の花嫁」、「ルージユをひいた文明開化時の貴婦人」と、実にさまざまなイメージが浮かんでくる。高貴で艶やかな薔薇の花に、郷愁漂う孤独な姿を見いだすのも楽しみな美の発見である。

(「作家と薔薇」展によせて 鷹山宇一)

現在開催中の秋のコレクション展の中から鷹山の描いた「薔薇」をご紹介します。「早春賦」、「夜明けの静物」どちらも1990年、鷹山82歳の時の作品です。深い緑を基調とした背景に現れるのは、山並みや都会の建物のシルエット。手前には色とりどりの花や果物、その間を蝶が飛び交います。

絵具が濁らないように、描いては拭き取るという工程を繰り返して造り上げられた透明感あふれる密度の高いマチエールが、幻想の世界へと導きます。着実なデッサン力で描かれた花、蝶、果物が幻想空間にリアリティを与え不思議な感覚にとらわれます。

色とりどりの花や果物。その中でも存在感を放つ大輪の「薔薇」。鷹山の作品には大作小品に拘わらず、多くの作品に薔薇が描かれています。

「郷愁漂う孤独な姿」とは、戦前から戦後と技法は変わっても、一貫して独自の世界観を迫及し続け、唯一無二の存在感と輝きを放った鷹山自身ではないでしょうか。

学芸員 遠藤未奈子

# 秋の常設展

## ミュージアムコレクションから

ようやく秋らしさが感じられる良  
季節となりました。今、鷹山宇一記念美術館では、や  
や一ヶ月、「常設展」を開催していま  
す。多くの方々がお出掛けしてく  
る季節は、大概特別展を開催してい  
る当館ですので、この良い季節に久  
々の、ミュージアムコレクション展  
となりまして。



▲織田廣喜  
「エチュード」油彩

▲2004年特別展  
「なんて素敵な織田廣  
喜展」でギャラリート  
ークをする織田先生



【絵画室1・2】  
鷹山宇一作品はもとより、鷹山宇  
一と親交の深い二科会の重鎮たちの  
作品をご紹介します。織田廣喜、  
月館れいをはじめ、鷹山賞児童作品  
展でも審査員を務める濱田進の油  
彩・水彩画、そして、初公開となる  
鷹山宇一秘蔵のコレクションから、  
東郷青児、岡本太郎ら戦後の二科会  
を牽引した画家たちの色紙を特別展  
示しています。

【絵画室3】  
まとまったコレクションとして大  
変貴重な中井昌美コレクションから  
渡辺貞一の油彩画15点、昨年開催し  
た特別展で画家の品格が再評価され  
た戸村春樹のメゾチント20点をご紹  
介しています。青森県が誇る二大作  
家の作品であの感動を再び！

【スペイン民芸資料館】  
当館収集作家である鳥谷幡山、平  
野四郎、上泉華陽の作品を展示して  
います。秋は冷酒を片手に軸装の日  
本画を眺めたい：そんな季節感には私  
だけの感覚でしょうか？十和田湖を  
愛し描き続けた画家・幡山の掛軸、  
馬の画家・華陽の墨画を中心に紹  
介しています。

●ミュージアムコレクション展●  
●10月15日(日)まで●



▲渡辺貞一「雪の子」油彩



▲戸村春樹「罅」メゾチント



▲上泉華陽の墨画（題不詳）

開館二十周年をひかえて

思い出される方々

織田廣喜先生

1994年8月1日の当美術館開  
館から、来年30周年を迎えようとし  
ています。この間、沢山のご来賓、  
お客様をお迎えしました。  
お中央画壇の現在を広く紹介して  
れる特別展「春季二科展」では、平  
成15年まで計8回の開催となりまし  
た。先生方がお見えになり、彫刻  
部の先生方がお見えになり、花を添えて  
ださいます。先生方を囲んでお話し  
を交わす機会、刺激を満ちてお出  
されまます。  
開館30周年の年、当時御年83才の  
織田廣喜先生は、スーツ姿に紙袋一  
つ、絵の具だけと七分の着替えと、筆  
泊されたたかど七戸入りし、至極シ  
術館へ向かう車が迎えに来てもギ  
リギリまで中庭でスケッチをされま  
した。絵筆が止まるまで途切れるこ  
とのないその集中力、真摯な姿に深  
く心を打たれました。そして20代半  
ばの若輩学芸員にも、思いやりをもっ  
て丁寧にお話をしてくださりました。  
そんな素敵な先生ですから、美術  
ファンは放っておきません。希望  
する方々お一人お一人、似顔絵を丁  
寧に描き上げ、「お疲れでしょう。」  
とお声がけすると、「いい勉強をさせ  
ていただきました。」と穏やかに笑わ  
れるのです。重鎮を成した方という  
ものは、謙虚な気持ちは忘れな  
い。この織田廣喜先生を自戒の念を込  
めて思い出しています。(A・O)

## 模型のタミヤがやってきた Part3 つくて、あそんでキミの未来は無限大!

会期中の出来事を2ページにわたり振り返ります。



### モデラーズクラブ作品展示会



7月8日  
(土)、9日(日)

の2日間、特別企画として、七戸町観光交流センターをお借りし、青森ブラモデラーズ

クラブのみなさんの作品展示会を開催しました。

### ギャラリートーク

7月8日

(土)、9日  
(日)、株式会社

社タミヤ営業部 催事課 課長・新田泰三氏によるギャラリートークを行いました。タミヤ創業から現在に至るまでの歴史や製品についてわかりやすく、楽しく解説していただきました。ありがとうございました。



株式会社タミヤ代表取締役会長 田宮俊作様にご挨拶頂きました。

### 7/7 (金) 開催式

青森放送株式会社との共催による「模型のタミヤがやってきた Part3」つくて、あそんでキミの未来は無限大」が51日間の会期を無事に終了しました。県内外から20,240人ものお客様にお越しいただきました。

### 工作イベント

#### ★ミニ四駆工作教室

六ヶ所村立南小学校の野坂佳孝校長先生を講師としてお招きしました。会期中全13回の工作教室、ありがとうございました!



### 合い言葉は「ワンチーム!」



先生お手製の説明書で、ミニ四駆作りが初めての子どもたちもちょっと悩みながらも楽しそうに作業していました。



完成後はみんなでレース!自分でつくったミニ四駆が走り出す達成感!子どもたちのキラキラした表情が印象的でした。



### 作った後はみんなでレース!



テラヨンカーズのみなさん。

#### ★青森発 出張 寺四駆!

青森県佐井村の長福寺で「お寺であそぼう」をテーマに活動している「テラヨンカーズ」による工作教室です。

## タイヤに履き替えませう。

美術館の中に入れるためにはタイヤを履き替えなくてはなりません。炎天下の中、作業しました。



## エアロバンテ登場！



7/6 (木) エアロバンテが七戸にやって来ました！青のボディがかっこいい！でもこのままだと搬入口を通りません…。

特別展示のミニ四駆を1/1スケールで実車化した「エアロバンテ」、ラジオコントロールカーを実車化した「モンスタービートル」。

「どうやって美術館の中に入れたの？」と不思議に思った方もたくさんいらっしゃるのではないのでしょうか？その“うらがわ”をご紹介します。

## 実車展示の裏側

展示室に到着！たくさんの方の協力で無事に搬入することができました！



展示室まであと少し！慎重に押して…



搬入口を通過！

## モンスタービートル！

こちらもタイヤを入れ替えて搬入。



8月11日 (金) 1万人目のお客様



7月28日 (金) 5千人目のお客様



総入館者数は

**20,240人！**

本当にたくさんのご来館、ありがとうございました。

9月3日 (日) 2万人目のお客様



8月18日 (金) 1万5千人目のお客様



7月8日 (土) 初日、最初のお客様



## カワイイ！楽しい！ スイーツの世界



※こちらはイメージです

スイーツデコレーションとは軽量粘土や樹脂粘土を用いてスイーツを本物そっくりに作り上げてデコレーションをするクラフト作品のことです。



決してたべてはいけません！！



何度も言いますが、たべられません・・・

令和5年度  
「美術館あーとくらぶ」は  
11月頃から開催する予定です。

詳しくは10月頃HPでお知らせ致します。皆さまのご参加をお待ちしております。



おまけ  
今年も美術館裏でヤマトシジミを確認出来ました。  
Part2の時に大発生していたなあ。

## 「Tシャツクッキー」ストラップ作り！

模型のタミヤがやってきたPart3では毎週日曜日(初日)の8時を除く日にタミヤのツインスターが入った「Tシャツクッキー」のストラップを作りました。

スイーツデコレーション体験の会場は美術館の中程にあるランブ館の前の廊下です。来館された方の目にとまるようあえて廊下で行いました。結果、広い層のお客様に体験してもらうことができました。

「Tシャツクッキー」は軽量粘土を使います。クッキーの色を粘土に練り込み、Tシャツの型でくり抜きます。そしてタミヤマークを左右間違わない様にスタンプしたら、焼き色を付けます。お好みの焼き色加減で完成です。(粘土は自然乾燥で1日乾燥させます。)

普段は申込みされた方のみとお話しますが、この度は興味を持って声をかけてくれた多くの方とお話しをすることができ、とても楽しいひとときを過ごすことが出来ました。ありがとうございました。

タミヤスタッフの方にアイスマグネットの作り方も教わりました。20日以降「Tシャツクッキー」と「アイスマグネット」とどちらでも体験できる様にしておりました。



## 8/19・20 限定！ 「りんごパフェをつくろう」

模型のタミヤがやってきたPart3のスイーツデコレーション体験では8月19日、20日限定で、タミヤスタッフによる「りんごパフェをつくろう」を開催しました。まず上白糖の「うまきり」と「やまのムース」などをつくれます。「ホイップの達人」のミルク(白)、いちご、カスタードから好きな色のホイップそっくりな粘土を絞ります。その上、「うまきり」と「やまのムース」をのせてデコレーションしたら完成です。思わず食べたしまいたいようなパフェの完成です。



タミヤ展を振り返ってみました。今回のPart3は今までに無いくらい盛り沢山のイベントで、見回すと家族で楽しんでいる光景がそこにありました。担当したワークショップでも、参加してくれた皆さまに体験を通して楽しさを知ってもらいますが、担当者の私が楽しんでしまっています。とても良い経験が出来ました。

# 美術館日誌

## ◆7月



- 4日(火) タミヤ展展示作業(5/7/6タミヤ(株)、青森スタジオ(株)、当財団)
- 6日(木) カメラ移設工事 (セコム(株))
- 7日(金) タミヤ展開催式 RABテレビWith出演 (遠藤学芸員)
- 8日(土) タミヤ展初日 ギャラリートーク開催 (タミヤ(株)新田泰三氏) RABラジオサタデー横丁出演 (遠藤学芸員)
- 9日(日) ミニ四駆工作教室 (野坂佳孝氏) ギャラリートーク開催 (新田氏) RABラジオオラじすく!エア出演 (織川学芸員)
- 12日(水) RABラジオオラじすく!エア出演 (織川学芸員)
- 14日(金) RABラジオオラじすく!エア出演 (織川学芸員)
- 15日(土) おさんぽ日曜日収録 (遠藤学芸員) 憩いの広場 まんぶく (利用者6名職員2名)来館 (野坂氏) ミニ四駆工作教室 (野坂氏) Tシャツデコ体験 (織川学芸員) ストランプ作り (織川学芸員) 遠藤学芸員
- 16日(日) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 17日(月) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 19日(水) 男子トイレフィルター清掃 (有)三光電気 (佐藤電気) 電気設備定期点検 (佐藤電気) 害虫トラップ回収・設置 (イカリ消毒(株))
- 20日(木) 七戸養護学校 (生徒7名先生4名)来館 RABテレビWith出演 (遠藤学芸員)
- 21日(金) RABテレビWith出演 (遠藤学芸員)
- 22日(土) ミニ四駆工作教室 (野坂氏) スイッチデコ体験 (野坂氏) Tシャツデコ体験 (野坂氏) Tシャツデコ体験 (野坂氏) 遠藤学芸員、織川学芸員
- 23日(日) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)

## ◆8月

- 28日(金) 「タミヤ展」入場者5千人 達成記念セレモニー開催
- 29日(土) ミニ四駆工作教室 (野坂氏) Tシャツデコ体験 (野坂氏) 遠藤学芸員、織川学芸員
- 30日(日) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 1日(火) WS打合せ (七戸養護学校渡辺先生、織川学芸員)
- 3日(木) 照明LED化改修工事打合せ (生涯学習課(株)石川設計) 当財団
- 4日(金) 電光掲示板取付 (東和レジスターシステム(株)菊池氏)
- 5日(土) ミニ四駆工作教室 (テラヨンカース) Tシャツデコ体験 (織川学芸員) RABラジオサタデー横丁出演 (遠藤学芸員)
- 6日(日) 照明LED化にもなる パナソニックスポットライトテスト (青森スタジオ(株))
- 7日(月) モンスターパービートル入替 (タミヤ(株)、青森スタジオ(株))
- 9日(水) 松木満史作品打合せ (郷土館大田原氏)来館
- 10日(木) 七戸中学校職場体験打合せ (遠藤学芸員)
- 11日(金) 電気設備定期点検 (佐藤電気) 「タミヤ展」入場者1万人 達成記念セレモニー開催
- 12日(土) スイッチデコ体験 (野坂氏) Tシャツデコ体験 (野坂氏) 遠藤学芸員、織川学芸員
- 13日(日) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 14日(月) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 15日(火) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 18日(金) ミニ四駆工作教室 (野坂氏) 田宮会長)来館 (8/20)



- 19日(土) 「タミヤ展」入場者1万5千人 達成記念セレモニー開催 RABラジオサタデー横丁出演 (新田氏、遠藤学芸員) ミニ四駆工作教室 (テラヨンカース) スイッチデコ体験 (野坂氏) りんごパフェをつくろう (タミヤスタッフ、織川学芸員) タミヤスタッフ、織川学芸員
- 20日(日) ミニ四駆工作教室 (テラヨンカース) スイッチデコ体験 (野坂氏) りんごパフェをつくろう (タミヤスタッフ、織川学芸員) 六カ所村立南小学校団体(子ども4名大人17名)引率2名)来館
- 22日(火) 害虫トラップ回収・設置 (イカリ消毒(株)) 電光掲示板説明 (東和レジスターシステム(株)菊池氏) 七戸養護学校(生徒4名2名)来館 (2F工房) 友の会旅行説明会 (織川学芸員)
- 24日(木) 七戸養護学校(生徒4名2名)来館
- 25日(金) 友の会旅行説明会 (織川学芸員)
- 26日(土) スイッチデコ体験 (野坂氏) Tシャツデコ体験 (野坂氏) 遠藤学芸員、織川学芸員
- 29日(火) 会場下見 (公社東北障がい者芸術支援機構 佐藤氏) 晩翠画廊 黒須氏、青森放送(株) 井畑氏
- 30日(水) 七戸中学校職場体験 (8/31) RABテレビWith出演 (遠藤学芸員)
- 31日(木) タミヤ展見学(七戸養護学校) AM生徒9名先生2名)来館 RABラジオオラじすく!エア出演 (織川学芸員)

## ◆9月

- 2日(土) ミニ四駆工作教室 (野坂氏)
- 3日(日) タミヤ展最終日 (野坂氏) ミニ四駆工作教室 (野坂氏) 「タミヤ展」入場者2万人 達成記念セレモニー開催
- 4日(月) 展示替え休憩(9/15) ミニ四駆工作教室 (野坂氏) 展示室内撤去
- 5日(火) 機材積み込み、七戸小学校テント撤去、モンスターパービートル搬出
- 6日(水) 第107回二科展表敬訪問 (大沢副館長) 七宝焼き打合せ(中央公民館田嶋氏) プレハブ撤去 (2F工房) 鷹山賞応募締切日 (2F工房) 七彩色油絵教室 (2F工房) テーラー 東北新聞社太田氏、馬場氏、地域ヒジネス局次長)来館 (佐藤電気)
- 8日(金) 電気設備定期点検 (佐藤電気) タミヤ展御礼(タミヤ本社訪問) (理事、遠藤学芸員、織川学芸員) 常設展初日 (9/10/15) タミヤ展御礼(RAB本社訪問) (理事、常務理事、大沢副館長) 会報入稿締切り
- 20日(水) 公民館講座(南公民館)織川学芸員
- 21日(木) 弘前厚生学院子ども科1年団体 (生徒21名)引率3名)来館
- 22日(金) 公民館講座(南公民館)織川学芸員
- 26日(火) 五戸町民大学講座団体 (生徒20名)引率2名)来館
- 27日(水) 害虫トラップ回収・設置 (イカリ消毒(株))
- 28日(木) 鷹山賞審査会(9/29) 鷹山賞審査会(9/29) 公民館講座(南公民館)織川学芸員
- 29日(金) 鷹山賞審査会(七戸町長、七戸町議長、七戸町教育長、二科会濱田進先生) 会報112号発送作業
- 30日(土) 鷹山賞審査会(七戸町長、七戸町議長、七戸町教育長、二科会濱田進先生)

開催中
常設展~10月15日(日)
次回特別展
10月21日(土)~11月12日(日) ※月曜休館(入館無料) 第9回 Art to You! 東北障がい者芸術全国公募展 青森展 主催:青森放送、東北障がい者芸術支援機構

彫刻家 鈴木正治の世界 II  
— 愛しい小さな作品たち —

今夏、青森ねぶた祭が四年ぶりに通常通りに開催されましたが、生涯、青森の地で制作した鈴木さんも郷土のお祭りが好きで、ねぶたのみならず、えんぶりや立佞武多をモチーフにした作品が数多くあります。

今回は、あまり知られていない小さな作品を紹介します。それらにも祭りを題材としたものが少なからずあるので、ご覧ください。

鈴木さんの彫刻の魅力は三六〇度、どこから見ても楽しめることです。

いずれも作品を手のひらに乗せて鑑賞していると、鈴木さん本人が楽しんで制作していることが感じられます。

① 「金魚ねぶた」(一九五四年作)

高さ一〇cmに満たない作品ですが、その下には、ねぶたの台車の車輪があり、周りにねぶたの引き手たちの顔が彫り込まれています。



② 「青森丸54」(一九五四年作)

これは、青函連絡船と蒸気機関車を彫ったもので、連絡船の下にはタグボートに乗った港湾労働者たちが彫られています。裏面には、魚の漁の様子が描かれていたり、街灯には「花まつり」と書かれてあったり、じっくり見ると、いろいろ想像を巡らすことができます。とても楽しいです。



正面



裏面

③ 津軽の錦石に線彫りした作品

上が「りんご樹」、下が一寸法師」。どちらもとても美しく、石なのに手に取ると、温かみを感じられます。



④ 「タンジヨウ」2点

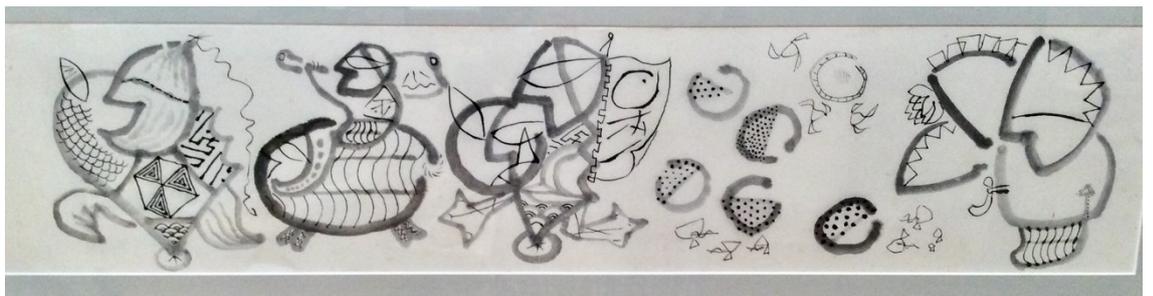
木彫は一九八二年作、ハマグリりの貝の墨絵は二〇〇二年作。釈迦誕生は鈴木さんの生涯のテーマであり、いろいろな作品があります。これらは手のひらに乗るサイズで、とても愛らしいです。



⑤ 「ねぶた(浦島太郎、金太郎、桃太郎)とえんぶり」

3人の太郎を並べ、えんぶりも同時に登場する楽しい墨絵です。

おまけに、未成年生まれの鈴木さんは、自らまさかりを担いで羊に乗っているというユーモラスな作品で、絵のストーリーを読み解く楽しさも隠れています。



皆さまも機会がありましたら、ノースライイトという小さなギャラリーで、今回、紹介した小さな作品たちを手にとって、じっくりご覧いただきたいと思えます。

ギャラリー ノースライイト 小川展子

座敷わらしの里  
金田一温泉郷を訪ねて  
岩手県三戸市

八戸市 照井壽一

作家三浦哲郎(1931~2010)の唯一の長編童話「ユタとふしぎな仲間たち」の舞台。金田一温泉郷を5月初旬に訪ねました。

昭和46年に刊行されたこの児童向けの作品は、金田一温泉郷出身の父親から聞いた座敷わらしの伝説をもとに書かれているそうです。

物語は、父親を失って東京から母親の故郷の分校へ転校してきた気弱な男太少年がペドロを頭とする9人の座敷わらしと交友関係を築きながら村の子供たちとも仲良くなり、たくましく成長していく姿が描かれています。

「金田一温泉郷てくてくマップ」を片手に木造の学び舎・分教場講堂、座敷わらし伝説の宿・緑風荘中庭の亀鷹神社、長川に架かるであい橋(通称ぼたの橋)を渡り、だんじや坂を登って三浦哲郎ゆかりの家等を訪問しました。また、金田一温泉郷は、哲郎氏が文



分教場講堂(旧長川小学校)

学を志願して八戸市から転居し早稲田大学文学部への受験準備をしたが、一年間品「プリンと湯の花」の舞台であり、芥川賞受賞



三浦哲郎ゆかりの家

て座敷わらしを探しながら歩いたメルヘンの世界は、ほのぼののとして楽しく、心に残る一日でした。

作「忍ぶ川」の主人公が新婚旅行に出かけた「K温泉」のモデルで、実際に哲郎氏の新婚旅行先でもあったそうです。五月晴れの日

○「ダンジャ」に案内され「だんじや坂」を登り「ゆかりの家」に向かいました。



街灯で遊ぶペドロ

○全国的に有名な、緑風荘の座敷わらしは、名を亀鷹といい、病に倒れ6歳で亡くなった男の子と伝えられているそうです。平成21年に緑風荘は、火災にあいましたが、家にいた亀鷹は、中庭にある亀鷹神社に避難して無事だったそうです。

←亀鷹神社入口を案内する「ヒノデロ」



○参考資料 自作への旅 三浦哲郎、二戸市公式ホームページ、その他

八戸市 照井壽一

新規会員入会お誘いと

友の会会員登録更新のお願い

平素から会員の皆様には、友の会運営に多大なご理解とご協力をいただき、誠に有り難う御座います。友の会では、鷹山宇一記念美術館の応援と会員の皆様に喜んで頂ける研修旅行、講演会等を企画し、微力ながら地域文化の発展に寄与していく所存でございます。尚、更新及び新規入会手続きは、美術館窓口と同封の郵便振替等により随時行っております。

○友の会の事業内容

①県内外美術館研修視察旅行(年2~3回)

②海外美術館研修旅行

③美術館作品購入基金への協力

④鷹山宇一記念美術館ボランティア協力

⑤会報の発行

⑥その他(美術講演会の開催等)

○一般会員

年会費 3千円

特典 ①無料入館券3枚。会員証提示により入館料2割引

②ミニシアターグッズ1割引

③研修会、講演会への招待、優待

④他美術館等の視察研修への優待参加

⑤会報の配布

○特別会員

(個人・法人) 年会費 1万円

特典 一般会員特典に加えて

①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者1名まで無料入館

②新規加入の方に画集1冊贈呈

○賛助会員

(個人・法人) 年会費 2万円

特典 一般会員特典に加えて

①会員証提示により個人・法人会員とも本人及び同伴者3名まで無料入館

②新規加入の方に画集1冊贈呈

③特別企画展の都度、招待券を贈呈

◇詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

☆ 会費納入について

美術館窓口、郵便振替に加え下記口座から美術館出入口でご利用下さい。  
○銀行 青森銀行 下戸支店  
○口座番号 307337  
○口座名義 鷹山宇一記念美術館友の会 会長 下山恭美子

○皆様の会報です。友の会の事業内容へのご意見、ご要望、美術館訪問記、旅行記等、お便りをお待ちしています。(字数:800字程度)

編集後記 皆様から美術館訪問記、紀行文等のご投稿を頂き会報第112号完成。ご協力に感謝申し上げます。(照井壽一)